



**OPTiM**®

**AGRI MICHINOKU**

# 株式会社オプティムアグリ・みちのく 冒頭・説明

---

# 会社概要

- 商号 株式会社オプティム（英語表記：OPTiM Corporation）  
東京証券取引所一部：3694
- 所在地 OPTiM TOKYO（東京本社）  
：東京都港区海岸1丁目2番20号 汐留ビルディング 21F  
TECH CENTER SHIBADAIMON（テックセンター芝大門）  
：東京都港区芝大門2丁目11番8号 住友不動産芝大門二丁目ビル8F  
OPTiM SAGA（佐賀本店）  
：佐賀県佐賀市本庄町1 オプティム・ヘッドクォータービル  
OPTiM FUKUOKA  
：福岡県福岡市博多区綱場町5番14号 さぎん福岡ビル4F  
OPTiM KOBE  
：兵庫県神戸市中央区小野柄通7丁目1番1号 日本生命三宮駅前ビル11F
- 子会社 株式会社オプティムアグリ・みちのく（青森県青森市新町）
- 代表 菅谷 俊二（佐賀大学農学部招聘教授）
- 設立 2000年6月8日
- 資本金 443百万円
- 決算月 3月
- 従業員数 正社員・契約社員500名（派遣社員及びアルバイトの最近1年間の平均人員58名/月平均）／平均年齢33.3歳（2018年3月末現在）
- 主要株主 菅谷 俊二、東日本電信電話株式会社、富士ゼロックス株式会社
- 事業内容 ライセンス販売・保守サポートサービス（オプティマル）事業  
（IoTプラットフォームサービス／リモートマネジメントサービス）



# 当社のミッション

## ネットを空気に変える。

— ネット端末を、あなた好みに働かせます —



株式会社オプティム  
代表取締役社長 菅谷 俊二

当社は、「[ネットを空気に変える](#)」というコンセプトを掲げ、もはや生活インフラとなったインターネットが、いまだに利用にあたりITリテラシーを必要とする現状を変え、インターネットそのものを空気のように、全く意識することなく使いこなせる存在に変えていくことをミッションとして、創業以来すべての人々が等しくインターネットのもたらす、創造性・便利さを享受出来るようサポートするプログラムの開発に尽力しております。

# AI/IoTプラットフォームを活用してあらゆる産業を変革する企業に (OOxITビジョンに基づく提携、合併戦略の実行)



# 医療 × IT

# メディカル・イノベーション・プロジェクト







## サービスラインナップ



消毒・手洗いエリア立ち寄りチェック



エリア別人数把握



エリア別混雑状況表示



密集アラート



密接アラート



手洗い時間判定

# 医療×ロボット×IT

2019.11.05プレスリリース

## オプティムとメディカロイド、 次世代医療用ロボットに関連する業務において業務提携



両社のシナジーを最大限に発揮し、高度なAI・IoT技術を応用した次世代手術支援ロボットシステムの開発を通じて、理想の医療の実現へ取り組んでまいります。

# 国産初手術支援ロボットシステム 「hinotori サージカルロボットシステム」 2020年8月製造販売承認取得



2020年12月14日 hinotori初の手術に成功  
神戸大学病院国際がん医療・研究センターにて前立腺がんを全摘出



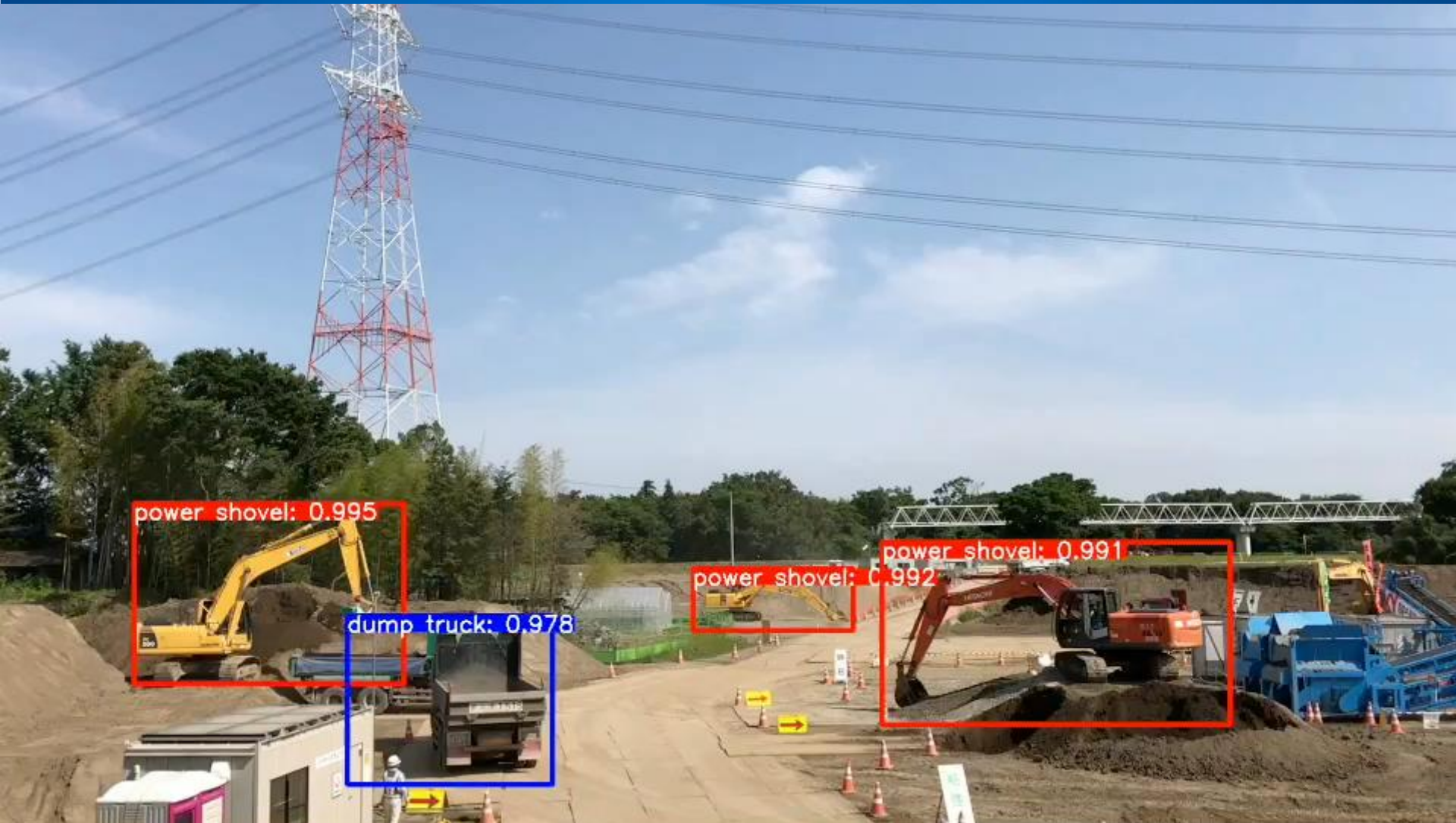
地域

日本製の手術支援ロボット「hinotori」初の手術に  
成功 神戸大学

# 建設 × IT

# 建設×IT

## コマツ様との合併会社「LANDLOG」



# 農業 × IT

# AI・IoT・Robot を使って、 “楽しく、かっこよく、稼げる農業”を実現する





# 会社概要

## 株式会社オプティムアグリ・みちのく

「株式会社オプティムアグリ・みちのく」は  
株式会社オプティムとみちのく銀行の合併会社です

### ■ 「株式会社オプティムアグリ・みちのく」 概要

会社名

株式会社オプティムアグリ・みちのく

営業開始日

2019年2月1日

住所

青森県青森市新町2-6-18 中新町ビル3階

事業内容

1. オプティムのスマート農業ソリューションを活用し  
生産者と連携した農作物の生産と販売
2. スマート農業に関する総合商社機能の提供
3. スマート農業に関するコンサルティングサービスの提供
4. その他、青森を中心とした地域の発展・貢献に必要な  
AI・IoTサービスの提供

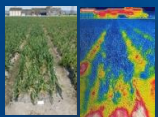
**OPTiM**<sup>®</sup>  
AGRI MICHINOKU

# 世界初、ピンポイント農薬散布テクノロジーを開発

特許取得済み

ドローンで空撮した画像をAI（ディープラーニング技術）を用いて害虫の検知。

→早期に害虫を検知し、必要な場所에만のみ農薬散布を実現。



大豆
元画像
解析結果
視覚化

▶

▶

稲
元画像
解析結果
視覚化

▶

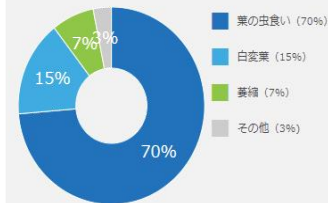
▶



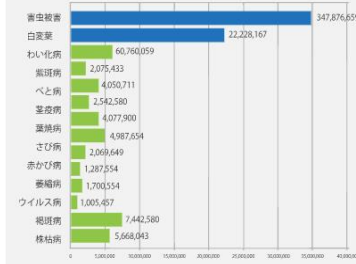
**推測結果**

推測分類

クラス推測 : 害虫被害、ハスモンヨトウ、白変葉



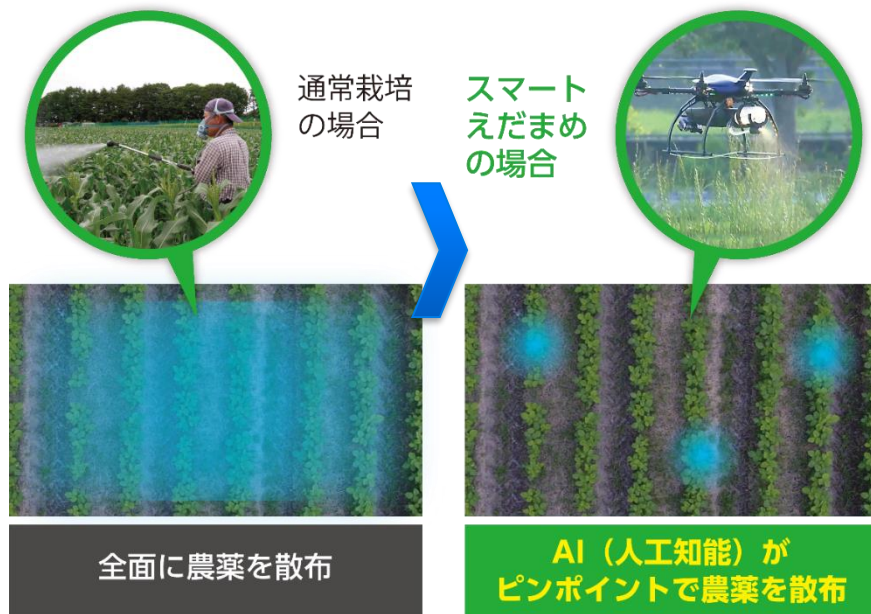
クラスマッチング



# 減農薬による農作物の高付加価値化

ピンポイント農薬散布技術をはじめとしたIoT活用により、農薬の使用量を極力抑え、  
残留農薬不検出の安心安全で高付加価値な**減農薬農作物を栽培**

## ピンポイント農薬散布



## 残留農薬の検査結果 (えだまめの場合)

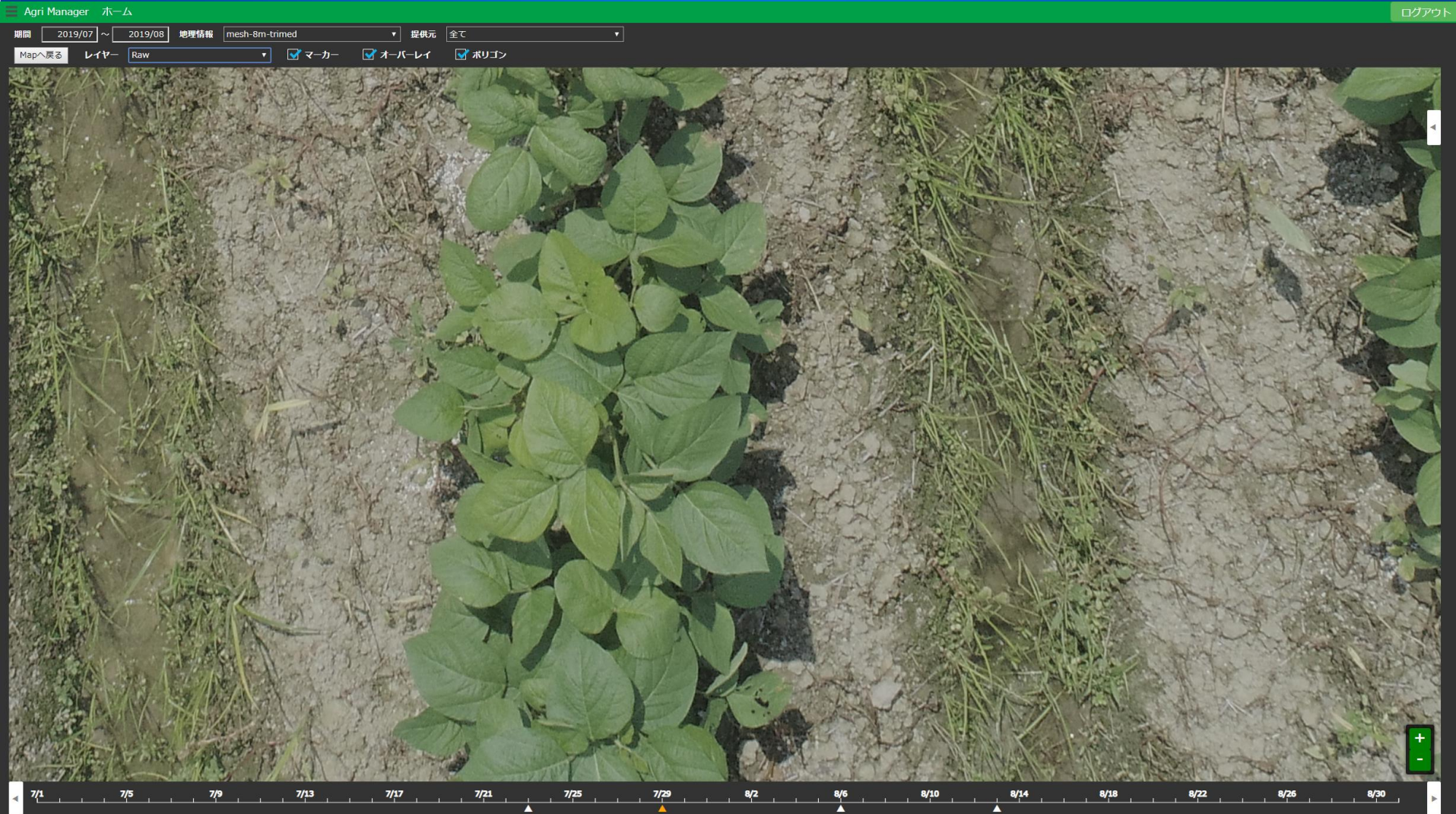
\* 減農薬基準：慣行栽培と比較した場合の削減量



※出典：2017年10月19日（佐賀大学農学部 渡邊啓一氏 監修（実施：株式会社ブルーム） ●検査方法：同一品種（黒豆大豆：クロダマル）を、同一農家（イケマコ）にて栽培。  
●隣接する場所に、通常農薬散布のほ場とピンポイント農薬散布のほ場（各44aの面積）を構築。 ●2017年9月に農薬散布を実施し、2017年10月に5箇所からサンプルを採取。サンプル場所は両ほ場から一定の距離を保つように配慮し、5箇所のサンプルを混ぜて残留農薬を検査。

- \*1 減農薬基準：慣行栽培と比較した場合の削減量
- \*2 エトフェンプロックスの場合。他も同様に不検出となります。

# AI解析前画像



# AI解析後画像







# 新しい農業へのチャレンジ！：スマートアグリフードPJ

世界初、

ピンポイント農薬散布テクノロジー、

スマート農業ソリューションを

全国の大豆・お米生産者の方々に**無償提供**します

更に、

ピンポイント農薬散布テクノロジー、

スマート農業ソリューションを用いて

全国で生産された大豆・お米を

オプティムが生産者価格で**全量買取**ります



# ブランド・マーケティング

---

# スマート米

ピンポイント農薬散布テクノロジーを用いた残留農薬不検出の「スマート米」の栽培に成功

## スマート米 2021

(2020年度産新米)

とっても体にやさしい  
お米できました。

特別栽培米

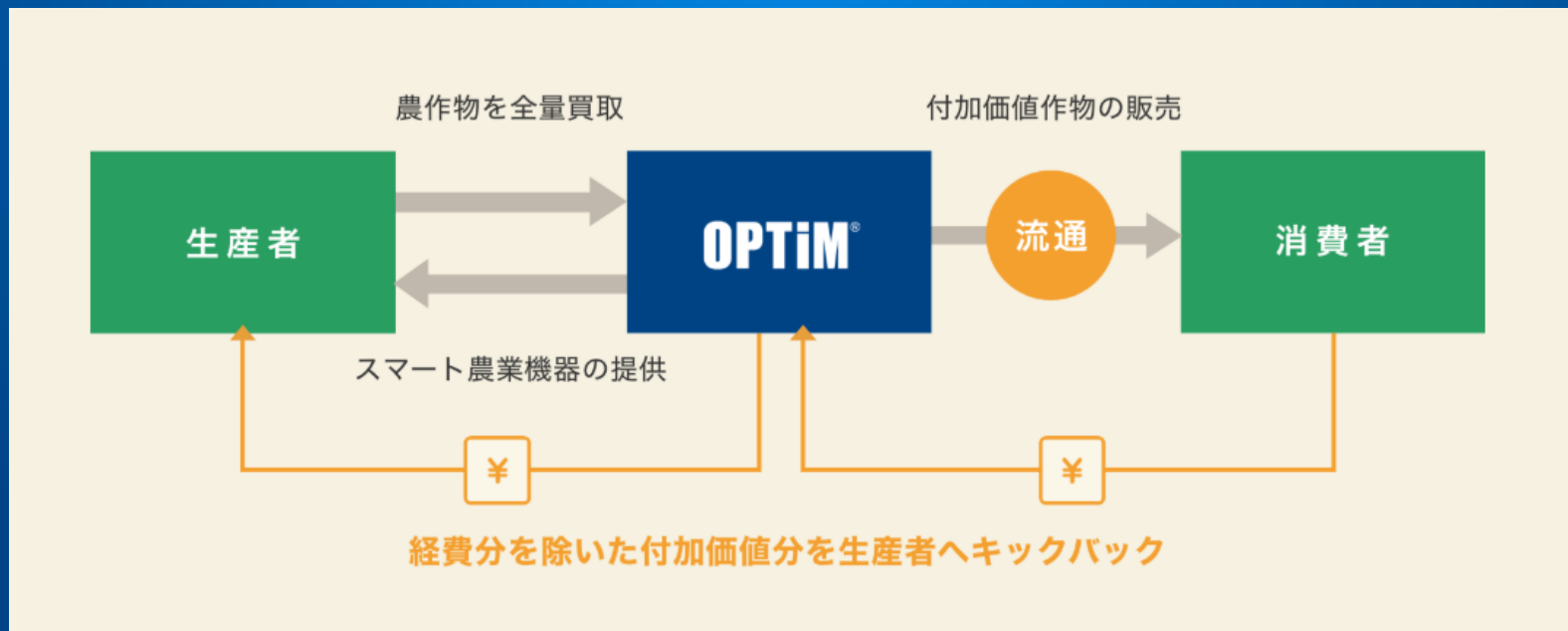
残留農薬不検出

節減対象農薬50%以下



# スマートアグリフードプロジェクト

AI/IoT/Robotics技術を活用することで、農作物に付加価値をつけた栽培・販売を行い、“楽しく、かっこよく、稼げる農業”を実現することを目的としたプロジェクトです。







SMART AGRICULTURE FOOD  
SUMA-CHOKU



新規登録

未来の自分は  
たべものからつくられる



# スマート米

自社EC販売：青森→全国の消費者様に販売



HOME ITEMLIST COLUMN ABOUT FARMER CONTACT



## SMART AGRIFOOD

SUMA-CHOKU



新規登録

login

cart

## 商品一覧

キーワード:指定なし



青森県産 まっしぐら

5kg

【秋の味覚キャンペーン34%OFF】  
スマート米 青森県産 まっしぐら 5kg  
【白米/玄米/無洗米玄米】 【送料無  
料】

3,980円(税込)



青森県産 まっしぐら

2kg

【秋の味覚キャンペーン32%OFF】  
スマート米 青森県産 まっしぐら 2kg  
【白米/玄米/無洗米玄米】 【送料無  
料】

1,980円(税込)



大分県産 にこまる

2kg

【食欲の秋キャンペーン32%OFF】  
スマート米 大分県産 にこまる 2kg  
【白米/玄米/無洗米玄米】 【送料無  
料】

1,980円(税込)



佐賀県産 さがびより

2kg

【食欲の秋キャンペーン32%OFF】  
スマート米 佐賀県産 さがびより 2kg  
【白米/玄米/無洗米玄米】 【送料無  
料】

SOLD OUT

# 青森の連携農家様

農業法人 株式会社アグリーンハート

・ 2018年度から当社とスマート農業の取組を開始



## 笑顔農業 感謝農業



ものづくり、笑顔づくり、地域づくり

# 青森の連携農家様

農業法人 株式会社大平ファーム

- ・ 2019年度から当社とスマート農業の取組を開始





# AIはSDGsを実現させるために最も有効なテクノロジー

## OPTiM<sup>®</sup> AI

必要な時に、必要なモノを、必要なだけ  
(需給予測・物体検知・物体認識・定量データ解析)



画像参照元：国際連合広報センター

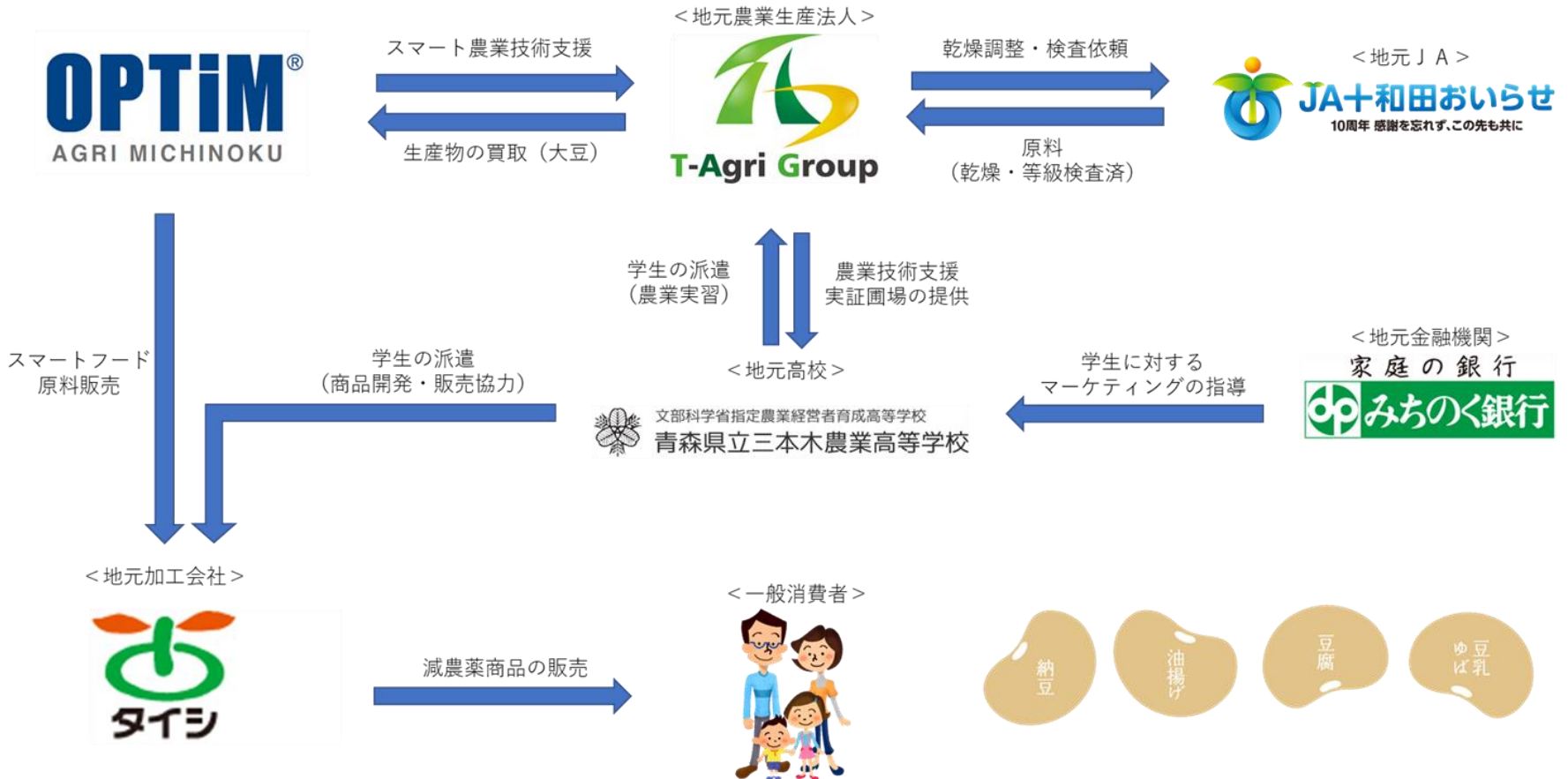
# 地域連携例

---





十和田市でのスマート農業の取り組みを開始  
 ～青森県立三本木農業高等学校との農商工連携プロジェクト～  
 ～上十三地区初となるドローン農薬散布防除サービスの展開～



# 青森県親子農業体験



スマート農業を学ぶ

参加無料

## 親子で農業研修会

### 1 スマート農業ってなに？

講師：(株)アグリーンハート  
代表取締役(農音楽家)佐藤 拓郎  
(株)オプティムアグリ・みちのく社員



### 2 ドローン操作体験及び実演

- ・ドローン操作体験  
(オリジナルサングラス進呈)
- ・ドローンによる農業散布の実演



### 3 修了式

- ・修了証及び記念品を授与  
(スマート農業で生産した農産物を進呈)
- ・ドローンで記念撮影(写真は後日郵送)



※画像はイメージです

開催日時：令和2年9月12日10時～12時

※雨天時は9月13日に順延、同日も雨天の場合は中止

場所：(株)アグリーンハート  
(黒石市馬場尻東61-15)

定員：小学生と保護者30名(先着順)

持ち物：飲み物等を持参してください。

※当日は、汚れても良い服装で、マスクを着用してください。

申込方法：裏面の参加申込書をFAX等で送付ください。



【集合場所地図】



【お問い合わせ先】

青森県構造政策課 ☎017-734-9463 担当 渡邊主幹







**OPTiM**®

**AGRI MICHINOKU**